

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第398号 平成18年2月



『払沢滝』
西成田 進

目 次

| | 頁 | | 頁 |
|--------------------------------|-------------|-----------------|------------|
| 1) 新年賀詞交歓会 | 総務部 … 2 | 8) 写真部写真展 | 写真部 … 11 |
| 2) 武士と僧侶 <small>ものよ</small> | 川崎健一郎 … 5 | 9) 各部だより | |
| 3) 新入会員紹介 | 広報部 … 6 | 学術部インフォメーション | 学術部 … 14 |
| 4) 地区だより | | 10) 理事会報告 | 広報部 … 16 |
| 青梅地区 | 片平潤一 … 6 | 11) 会員通知・医師会の動き | 事務局 … 20 |
| 5) 伝言板 | 広報部 … 7 | 12) 表紙のことば | 西成田 進 … 22 |
| 6) 専門医に学ぶ | 稲岡峰幸 … 8 | 13) あとがき | 葉山 隆 … 22 |
| 7) 感染症だより | 西多摩保健所 … 10 | 14) お知らせ | 事務局 … 23 |

平成18年 「西多摩医師会新年賀詞交歓会」

西多摩医師会の新年賀詞交歓会はどうも雪に縁があるようだ。春はまだ先なのに、ましてや今年は典型的な冬型の気圧配置が続いているのにも関わらず、今年も1月21日の賀詞交歓会の日に降った。

場所は例年通り青梅市福祉センター。開会予定の6時にご来賓の皆様はほとんどご着席されていたのだが、雪のためもあってか会員の集まりがやや悪く、10分ほど遅れて開会した。まずは真鍋会長の挨拶。昨今の厳しい医療情勢に言及しつつ、日本医師会の会長選挙にも触れ、今年も頑張りましょうという内容だった。続いて、ご来賓を代表して都議会議員野村有信氏と市町村長代表竹内俊夫氏にご挨拶をいただいた。野村先生からは同じ医師会の仲間内ということもあって、参議院選挙などの話題に触れながら医師会の政治力の低下をなんとかしないとイケないというやや厳しいご指摘をいただいた。続いて、都議会

議員、市町村長、警察署長および消防署長、医療関係団体などのご来賓の皆様を紹介させていただいた。続いて、西多摩保健所長早川和男氏のご発声による乾杯。しばし歓談。

今年の余興は演歌歌手の伊達めぐみさん。副会長の小机先生ルートでご出演願った。3人のカンパイドンサーズを伴い、大熱演。会場からも「めぐみちゃん」の声がかかったりして盛り上がった。

続いて、到着されたばかりの衆議院議員の井上信治氏にご挨拶をいただいた。衆議院の厚生労働委員会に所属されている井上氏は予算制約のある中でも、精一杯頑張りたいと力強く約束してくださった。

あっという間に8時近くになり、恒例の景品のくじ引き、監事の松原先生の手締め、地に足をついたネットワーク作りをしなければという小机副会長の挨拶で閉会した。

(文責：総務部福祉担当理事 中野和広)



(写真撮影：宮下吉弘)







もののふ 武士と僧侶

大聖病院 川崎 健一郎

ここで述べる武士とは、今流で言うと職業軍人のことで、熊谷直実なおざねと秋山真之まさゆきの二人のことを言う。

ところで、「青葉の笛」という歌をご存知の方も少なくなってしまったのではなかろうか。この歌は、明治39年に小学校高学年生用として、文部省が選定したものである。念のためにこの唱歌の歌詞の一番を掲載し、ついでに解説もしてみることにした。

「一の谷のいくさ軍破れ、討たれし平家の公達きんだちあわれ。暁寒き 須磨の嵐に、聞えしはこれか 青葉の笛」この歌は義経の「一の谷の戦い」（1184年）の時に『一番乗りした熊谷直実が、はるか沖の平家の軍船に向って一人の武者が馬を進めているのを見つけた。直実は「やあやあ、そこへ馬を進めているのは平家の大将とお見受けしたり。敵に後ろを見せるとは、見苦しいことぞ。いざ、馬を返して勝負をされよ」と声をかけた。この声に引き返してきた武者と直実とは、ただちに組み討ちになった。しかし、組みふせた直実が、武者の首を落とそうと大刀をかまえたところ、その武者は、なんと十五、六歳の少年ではないか。まさに、直実の子供と同じくらいの年頃なのである。思わずためらった直実に、武者は声をかけた。「早く首をとれ、とって人に問えば、わが名つねもりを知っている者もあろう」その武者は、平経盛の子の敦盛あつもりだったのである。

直実は「あわれ、弓矢とる身ほど口惜しかりけるものはなし。武芸の家に生まれずば、何とてかかる憂き目をば見るべき」と嘆きながら、涙のうちに首を落としたが、その鎧の下からは、見事な笛が出てきた。「さては、嵐の夜、あの美しい笛の音をきかせたのは、この若武者であつたのか」直実はあらたな涙にくれるのであつた』注：『』内は“スーパー日本史”（講談社）より抜粋したものである。「青葉の笛」はこの故事にちなんで作

られたのである。直実はその後僧侶として余生を送ることになった。その動機は一体何だったのだろうか。無常なこの世、人生の儚さ、怨みつらみも全く関係のない者同士が、殺し合いをすることに対する苦汁に満ちた思い、などなどが、心を締め付け、結局は、心の安らぎ、救いを求めて仏門に入ったのだろうか。

私のように無宗教の者には救いの道は無いのだろうか。

それはさて置き、秋山真之よしひるについて語らねばならない。真之は兄の好古と共に、故郷が同じ松山で時代も同じだった正岡子規とは、昵懇の間柄だった。兄の秋山好古は日露戦争の時には、騎兵隊長として満洲で大活躍をした人であり、一方真之は、東郷連合艦隊司令官坐乗の旗艦“三笠”の参謀長だった。ここでは、あの有名な日本海海戦について触れなければなるまい。明治三十八年五月、哨戒の任に当たっていた“信濃丸”が、バルチック艦隊を発見、確認し諸方で同じく哨戒中の僚艦に「敵艦見ゆ」と打電した。これを受けた“厳島”はただちに旗艦“三笠”に転電した。この報告を受けた東郷司令官は、ただちに全艦隊に出港命令を出すと同時に、大本営宛に次のような第一報を送った。「敵艦見ゆとの警報に接し、連合艦隊はただちに出勤これを撃滅せんとす。本日天気晴朗なれども波高し」この文句は秋山参謀長の作である。そして、バルチック艦隊と日本海海戦が決行されることになるのだが、その時旗艦“三笠”のメインマストに掲げられた信号旗は、あの有名なZ旗で「皇国の興廃この一戦にあり、各員一層奮励努力よせ」という内容だった。これも秋山参謀長の作であつた。戦いの結果は日本の連合艦隊の奇跡としかいいようのないような圧勝だった。ちなみにその内訳を記すことにする。ロシア側の損害は、三十八艦中十九隻撃沈、五隻は捕獲され、病院船二隻は抑留さ

れた上に、ネボガトフ、ロジエストウェンスキーの両司令長官以下六千六百六名が捕虜となり、一万数千人の戦死者を出すという歴史的な大惨敗を記録したのである。これに対して、日本の連合艦隊の損害は、わずかに水雷艇四隻が沈没、死傷者七百名にすぎなかった。——信じられないようなデータだが事実なのである——

そして戦後真之は、直実と同じように僧侶になろうとしたが、周囲の人達の反対に合

い、心ならずも諦めたが、その代りに、息子を僧侶にしたのである。その動機はおそらく直実と同じだったであろう。心の安らぎを求め、安心立命の境地に達するためには、宗教に頼るしか方法はないものなのだろうか。

武士^{もののふ}として有能だった直実と真之の二人が僧侶になった、なろうとしたことについて思いを廻らせているうちに、このような感慨を覚えたのでこの稿を書いた次第である。

新入会員紹介

あきる台クリニック 富家孝 会員



昭和22年、代々続く大阪の医家の生れ。大教大附属天王寺小、中、高を経て47年慈恵医大卒。開業、その後首都圏で病院チェーンを展開するも、経営のつまづきから身を引きその後日本女子体育大助教授、早稲田大学、青山学院大学講師などを歴任。現在、人間科学研究所主宰。(財)垂細亜友之会常務理事。格闘技通としても有名で、50年より新日本プロレス・コミッションドクターを務める。慈恵医大相撲部総監督。自身も相撲6段。又ジャーナリストとしても週刊文春、東京新聞等にも連載。著書は「医者しか知らない危険や話」(文芸春秋)等57冊。今回、伊藤正秀先生(あきる台病院、日医大相撲部監督)より突然話をいただきました。座右の銘は、「信ずるより確かめよ」。家族は、妻 寿美子(51才) 有料医師紹介業(有)メディカルサポートサービス社長。長男 慎太郎(21才) 青山学院大経営学部3年(体育会アメフト部)。長女 由梨(19才) 東洋英和高等部卒後、ノーステキサス州立大1年。
URL: <http://www.fuketakashi.com/>

地区だより

青梅地区 青梅市医師会新年会



青梅市医師会の新年会は1月13日、市内のひのき茶屋で行われました。総勢30数名とほぼいつも通りの人数で、もっと大勢の会員の参加が望まれる所です。細谷会長と市立総合病院の原院長から挨拶をいただき、出席者全員

の近況・自己紹介がありました。新年会ですから多くの問題は脇に置いて、青梅市医師会らしい和気あいあいの会でした。足立先生の言われたように、会員の先生方が新年会だけでなくしょっちゅう顔を合わせて、親睦を深められるような機会を持ちたいと思います。

(文責 片平潤一)

伝言板

① 第3回 西多摩消化器疾患カンファレンス

日 時：平成18年2月17日（金）19：30～
場 所：青梅市立総合病院 南棟3階 講堂

② 第13回 西多摩三師会主催 市民公開講座

日 時：平成18年2月18日（土）14：00～16：00
場 所：羽村市産業福祉センター2F「iホール」
演 題：「今、話題の花粉症への上手な対処法」
講 師：神尾記念病院顧問 斉藤洋三先生

③ 市民参加型フォーラム「介護予防って、なあ～に？」

日 時：平成18年3月10日（金）午後7時～9時
場 所：福生市市民会館 小ホール

福生市福生2455（JR牛浜駅下車 徒歩3分）

駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください

参加費：無料（午後6時受付開始）

対 象：一般市民の方々および医療福祉関係者

《第1部》基調講演

おたっしや21による介護予防

講師（東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室長）大淵修一先生

《第2部》パネルディスカッション

平成17年度福生市おたっしや健診報告

パネリスト（福生市福祉部介護福祉課長）古谷久雄先生

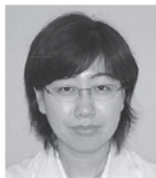
介護予防と医師の役割

パネリスト（東京都医師会理事）玉木一弘先生

④ 第4回 西多摩医師会臨床報告会

日 時：平成18年3月22日（水）19：30～21：30
場 所：青梅市立総合病院 南棟3階 講堂

専門医に学ぶ 第14回



公立福生病院 皮膚科 稲岡 峰 幸

問題

【症 例】 68歳 男性

【主 訴】 軀幹・四肢の紅斑

【現病歴】 約5年前から腹部と下腿に皮疹出現。ステロイド外用で軽快するが、毎年秋から冬に再燃する。

【既往歴・家族歴】 特記すべきことなし

【現 症】 軀幹・四肢に鶏卵大までの比較的境界明瞭な軽度の鱗屑を付す紅斑が散在する。(図1、2) 肩の紅斑は扁平に隆起し、浸潤を強く触れる。(図3) 掻痒は軽度。リンパ節腫脹なし。

【血液検査所見】 特に異常なし

問題1. 考えられる診断は？

【病理所見】 肩の紅斑から皮膚生検を行った。表皮内～真皮上層に軽度の異型性を伴うリンパ球が密に浸潤している。(図4-a) リンパ球は表皮向性に浸潤し、表皮内に微小膿瘍を形成している。(図4-b) リンパ球は特殊染色でCD3 (+) CD20 (-)であった。

【画像所見】 胸腹骨盤CT、Gaシンチ；特に異常所見なし

問題2. この疾患の治療法は？



図1



図2



図 3

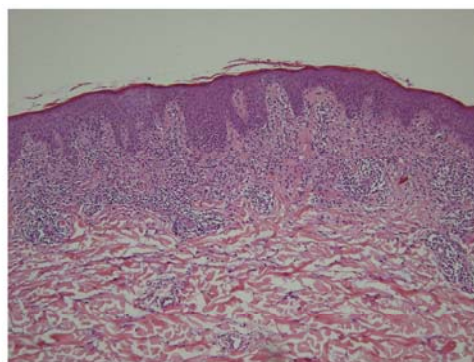


図 4-a

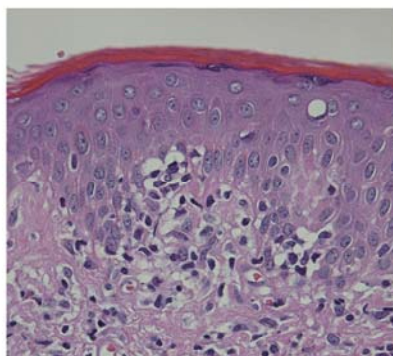


図 4-b

解答と解説

1. 診断；皮膚T細胞リンパ腫（菌状息肉症）

皮膚原発悪性リンパ腫は90%以上がT細胞由来で、その中で最も多い疾患が菌状息肉症である。進行度・臨床症状から紅斑期、扁平浸潤期、腫瘍期の三期に分類される。初期は軽度鱗屑を付ける湿疹と間違えるような紅斑を生じ、消長を繰り返す。進行すると浸潤を強く触れるようになり、数年から数十年かけて腫瘤を形成し、腫瘍期に移行する。本症例は、肩の紅斑が軽度扁平に隆起し、浸潤を強く触れることから、扁平浸潤期と診断した。確定診断は皮膚生検が必須である。異型T細胞が真皮内から表皮向性に増殖し、表皮内にPautrier微小膿瘍を形成する。25～50%の症例に皮膚外病変（リンパ節、脾、肝、肺、腎、消化管）を合併するため、GaシンチやCTで内臓病変を精査する。

2. 治療；紫外線療法

治療は病期によって異なるが、紅斑期～扁平浸潤期はステロイド外用、紫外線療法（PUVA療法）が主体であり、扁平浸潤期～腫瘍期は電子線照射、化学療法、インターフェロン γ ・ α 投与を行うことが多い。本症例は扁平浸潤期で、皮膚外病変を認めないため紫外線療法が行われたが、他療法も併用することがある。平均生存年数はTNM I A～II A；12年以上、II B～IV A；5年、IV B；2.5年であり、皮膚外病変を合併すると予後不良である。

感染症だより

<全数報告>

2005年第51週(12.19～25)から2006年第3週(1.16～22)のあいだに全数報告対象の感染症の報告はありませんでした。

2005年1年間の西多摩保健所への報告は、二類感染症の細菌性赤痢1件、四類感染症のつつが虫病3件、E型肝炎1件、レジオネラ症1件、五類感染症のアメーバ赤痢3件、後天性免疫不全症候群1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、梅毒2件で総数は13件でした。

<定点からの報告>

| | 51週 | 52週 | 2005年 累計 | 1週 | 2週 | 3週 | 2006年 累計 |
|---------------|----------|-----------|-------------|-------|--------|---------|-------------|
| | 12.19～25 | 12.26～1.1 | | 1.2～8 | 1.9～15 | 1.16～22 | |
| RSウイルス感染症 | 1 | 1 | 10 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| インフルエンザ | 1 | 2 | 3,042 | 24 | 74 | 211 | 309 |
| 咽頭結膜熱 | 1 | 1 | 181 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 7 | 5 | 302 | 0 | 8 | 5 | 13 |
| 感染性胃腸炎 | 99 | 61 | 1,550 | 40 | 26 | 36 | 102 |
| 水痘 | 12 | 14 | 359 | 9 | 11 | 6 | 26 |
| 手足口病 | 0 | 0 | 466 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 伝染性紅斑 | 0 | 0 | 38 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 突発性発しん | 2 | 1 | 114 | 1 | 4 | 1 | 6 |
| 百日咳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 風しん | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ヘルパンギーナ | 0 | 0 | 192 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 麻しん(成人以外) | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 流行性耳下腺炎 | 7 | 9 | 521 | 7 | 9 | 6 | 22 |
| 不明発疹症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| MCLS | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 130 | 94 | 6,781 | 82 | 133 | 266 | 481 |

※ マイコプラズマ肺炎(基幹定点): 第2週3名。

<コメント>

- ・インフルエンザによる今シーズン初の学級閉鎖が、1月16日に日の出町、あきる野市の小学校から報告された。初発校調査を行い、児童の咽頭ぬぐい液からAソ連型が検出された。その後、青梅市の小学校からも学級閉鎖の報告があり、管内全域にひろがっている。
- ・インフルエンザの報告数が第2週に定点あたり10.0を超え流行期に入った。第3週には30.1と上昇している。昨年に比べて1週早く10.0を超えた。昨年の場合、西多摩が都内で最初に上昇を示したが、今年是他圏域での立ち上がりも早く都内全域で流行が始まっている。
- ・感染性胃腸炎の報告数は、ピークを超えたが、例年3月半ばまで流行が続くので高齢者施設・乳幼児施設・学校では引き続き注意が必要。

<東京都新型インフルエンザ対策行動計画を策定>

12月26日東京都は、新型インフルエンザ対策行動計画を発表しました。11月号の本欄でご紹介した「東京都新興感染症対策会議の報告」をもとに、6つの発生段階に区分し、それぞれの時期への対応・行動計画を示しています。詳しくは東京都の新型インフルエンザ対策関連情報ホームページ <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kansen/sidou/influ.html> をご覧ください。

西多摩地域での具体的な対応については、さらに詰めていく必要があります。今後保健所の健康危機管理協議会等を通じて検討していきたいと考えていますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

感染症発生動向調査(サーベイランス)は、先生方のご報告があつて初めて機能します。ご理解ご協力をお願い申し上げます。
(文責:西多摩保健所保健対策課)

写真部写真展



カトレヤ・ラビアタ

森本 晋

4年前に東京ドームで開催された世界蘭展でブラジルのブースで買い求めたカトレヤの原種です。昨年秋ようやく開花しました。



オータムクロッカス

田村啓彦

青梅の畑で見つけたオータムクロッカスです。雨上がりの曇天で光が柔かく、背景をうまく処理できましたが、撮影後に気が付けば、膝は泥だらけでした。



吸蜜 - イチモンジセセリー

坂本保己

後ろ翅にある白い横一文字からイチモンジと呼ばれます。セセリチョウは地味な茶色で体長も3cmそこそこと冴えませんが、黒く大きい目玉で俊敏に飛び回り、せわしく吸蜜する姿は茶目つたっぷりです。50mmマクロレンズ、f 5.6、自然光下オート撮影。



ワンオン出来るかな!

細谷純一郎

昨年11月23日、写真展が押し迫った時、写真を撮りに行く時間を惜しんで、ゴルフを行っていました。船橋カントリー倶楽部16番・176Y・par3のショートホール、前の組がプレイ中に撮った写真です。ワンオンは逃しましたが、ツウオン・ワンパットでparでした。



雪山 岩尾芳郎

南国育ちでスキーもできない私が冬山に登るなど考えもしなかったことですが、毎年冬には富山に行くのですが、今回は往路に黒部ダム経由のコースを選びました。当日はひと冬に何度もないといわれる位の好天に恵まれて雪山を初めて近くで見ることができ、感激しながらシャッターを押しました。



安曇野 稲垣壮太郎

長野自動車道の豊科インターを出て、大王わさび園に接した原生林のなかに滔々と流れる清流がある。ここに三基の水車があり、日本の原風景を感じ撮影してきました。後で黒澤監督が造らせた映画のセットと聞きました。



「パフォーマンス」新宿にて

松原貞一

写真の出来はともかく、写真機を持っていたことを褒めて頂戴。



双六小屋遠望 石井好明

2年前、小池新道から稜線に出たら、双六池のキャンプ場が見えた。向う側の雲の平から登ってテントを張ったのは45年前。石ころ地面で眠れず、翌日、笠ヶ岳を縦走したが、下りでバテて、仲間の肩にすがって槍見温泉に転げこんだのだった。



移り行く光景 西成田 進

雲を撮るのは難しい。面白い雲だなあ、と思った時には大抵の場合カメラを持っていない。変幻自在の雲を撮りに出かけるような時間はない。この撮影の時にはたまたまコンタックスのコンパクトをもっていた。ちょっと遠回りして歩道橋に上がった。日没まじか、工事中の道路と立ち並ぶマンション、そして雲。ふと浮かんだのがこのタイトルであった。



軌跡 永田靖彦

以前、伊豆に出張していた頃の自室からの風景です。都会の喧騒から遠く離れた生活に人生観を幾らか変えられた気がしました。忘れ得ぬ風景の1つです。



カトレヤ・ラビアタ 森本 晋



「パフォーマンス」新宿にて 松原 貞一



吸蜜 -イチモンジセセリー 坂本 保己



雪山 岩尾 芳郎



移り行く光景 西成田 進



オータムクロッカス 田村 啓彦



双六小屋遠望 石井 好明



ワンオン出来るかな! 細谷 純一郎



軌跡

永田 靖彦

ひとりの自分
 ただひとりの自分
 愛することを忘れ
 出会いを忘れ
 すべてを忘れ
 この海も
 空も
 ただ死におびえ
 流れてゆく時間
 遠くに見える
 あの船の軌跡は
 何処まで続くのだろう
 僕の心の中に
 忘却を思い起こし
 記憶を呼び起こすことの可能?

(1995.3.21)



安曇野 稲垣 壮太郎

各部だより



学術部

Information



《2・3月》

西多摩医師会学術講演会のご案内

- 1 日 時：平成18年2月10日（金）19:30～
場 所：青梅市立総合病院 南棟3階講堂
演 題：『虚血イベント二次予防としての積極的脂質低下療法の成績』
国立病院機構災害医療センター循環器科 医長 佐藤 康弘 先生
- 2 日 時：平成18年2月15日（水）19:30～
場 所：青梅市立総合病院 南棟3階講堂
演 題：『メタボリックシンドロームで見られる脂質代謝異常とその治療』
関東学院大学人間環境学部健康栄養学科 教授 田中 明 先生
- 3 日 時：平成18年2月24日（金）19:30～
場 所：青梅市立総合病院 南棟3階講堂
演 題：『パーキンソン病の臨床』
東京都立神経病院神経内科 医長 沖山 亮一 先生
- 4 パネルディスカッション「呼吸器疾患」
日 時：平成18年2月25日（土）14:00～17:00
場 所：青梅市立総合病院 南棟3階 講堂
テーマ：「びまん性肺疾患」
司会：西多摩医師会学術部長 細谷 純一郎 先生
1. パネルディスカッション
座長：佐野内科クリニック 佐野 茂男 先生
(1) 「間質性肺炎について」 公立阿伎留病院 呼吸器科 水村 賢司 先生
(2) 「サルコイドーシス・過敏性肺炎（HP）について」
公立福生病院 内科 松原 弘明 先生
(3) 「薬剤性肺炎について」 青梅市立総合病院 呼吸器科 立石 知也 先生
2. 症例検討
進行係：青梅市立総合病院 呼吸器科 大玉 信一 先生
出題：青梅市立総合病院 呼吸器科 遠藤 泰之 先生

5 日 時：平成18年3月1日（水）19:30～

場 所：青梅市立総合病院 南棟3階講堂

演 題：『Vascular Protection 直接的な血管保護作用』

東京医科歯科大学大学院血流制御内科学・病態代謝解析学 助教授 吉田 雅幸 先生

《学術講演会要旨1》

平成18年1月19日（木）

演題：「Ca チャネル拮抗薬の抗動脈硬化作用を裏付ける分子基盤」

講師：東京医科歯科大学 学長特別補佐・病態代謝分析学分野 助教授 吉田 雅幸 先生

実地臨床において、降圧薬の併用療法の最適な組み合わせを明らかにすることは重要な課題であった。ASCOT 試験では、比較的新しい Ca 拮抗薬アムロジピンをベースに ACE 阻害薬を加える併用療法が、従来のβ遮断薬アテノロールをベースに適宜利尿薬を加える併用療法に比べて良好な結果を示したことは注目に値する。

降圧でもアムロジピンベース治療群が優れていたが、降圧差だけではイベント抑制の一部しか説明できないものと考えられる。これまで基礎研究で示されてきたアムロジピン独自の多様な「臓器保護作用」が、イベント抑制に寄与した可能性もある。

また、アムロジピンの作用時間は「スーパーロング」と言われ、Ca 拮抗薬のなかでも際立って長い。長時間にわたる確実な作用がイベント抑制に寄与している可能性も考えられる。

《学術講演会要旨2》

平成18年1月20日（金）

演題：「心房細動に対するARBの新たな可能性」

講師：福岡大学病院循環器科講師 熊谷 浩一郎 先生

実際に不整脈が起こってしまった場合の治療戦略を“ダウンストリーム治療”というのに対して、不整脈の発生をもたらす病態そのものの進行を抑える治療戦略を“アップストリーム治療”という。心筋梗塞であれば、不整脈の基質となる梗塞巣の拡大、線維化や心室の拡張を抑制することによって、慢性期の心室性不整脈の発生を予防するという考えである。そのためには、早期の血行再建術やβ遮断薬、アンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害薬、アンジオテンシンII（AII）受容体拮抗薬（ARB）が用いられる。

一方、心房細動（AF）の発生する背景を考えた場合、AFが数時間持続すると、イオンチャンネルを構成する蛋白にも変化が生じてくる。これからの変化が心房筋の不応期の短縮をもたらし、それ自体がさらにAFの持続を容易にする。さらに1～2週間AFが持続すると、これらの電気生理学的変化に加えて、心房の拡張や線維化などの構造的変化も加わり、最終的に慢性AFに移行すると考えられている。

不整脈の治療には通常抗不整脈薬が用いられるが、抗不整脈のみで不整脈の発生をもた

らず病態そのものの進行を抑えるのに限界がある。そこで、リモデリングを装飾する体液神経因子の1つであるレニン・アンジオテンシン（RA）系の不整脈における意義について述べる。

（心房のリモデリングとARB）

電氣的リモデリングに対してARBがどのような影響を及ぼすか、イヌAFモデルを用いて検討した。800／分の高頻度ペースングによりAFを誘発すると、対照群では次第に不応期が短縮したが、ARB投与群ではペースングによって不応期は短縮しなかった。逆に、AIIを投与すると対照群と同様に不応期が短縮した。また、AII投与により右房圧は上昇したが、ARBやACE阻害剤投与群では右房圧上昇が抑制された。この機序として、ARBは、圧負荷の軽減及びCa過負荷の抑制により不応期短縮を予防したのではないかと推測される。次に、長期の心房リモデリングに対するARBの効果を検討するために、イヌAFモデルにて5週間心房高頻度ペースングを施行したところ、ARBは心房不応期の短縮は予防しなかったが、伝導遅延とAFの持続時間を有意に抑制した。5週後の病理所見を比較したところ、対照群において著しい間質の線維化を認めたが、ARB投与群では線維化が有意に抑制された。短期の心房ペースングでは不応期の短縮がAFの発生に関与するが、長期では不応期の短縮より、むしろ間質の線維化による伝導障害がAF持続に重要な役割を果たしていると考えられた。ARBオルメサルタンは、EUTOPIA試験により優れた抗炎症作用を示す。又、心房の電氣的・構造的リモデリングに対する予防効果をもつため、AF慢性化予防のアップストリーム治療の1つになり得ることが期待される。

● 理事会報告 ●

★ Information ●

1月定例理事会

平成18年1月24日（火）

西多摩医師会館

〔出席者：真鍋・小机・横田・新井・伊藤・瀬戸岡・田坂・中野・野本・原・細谷・足立〕

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告（会長）

(1) 都医からの伝達事項

- ① 厚生労働省の「医師等の行政処分のあり方等に関する検討会報告書」について
- ② 平成17年度医事紛争事件概況について
年々件数が増加、金額も高額になってきている。
- ③ 診療報酬点数改訂講習会開催要綱について
- ④ 東京都医師会雑誌「会員のいきいき広場」原稿ご執筆依頼について
西多摩は10月号（締切8月20日）。

- ⑤ 看護職員等就業実態調査の実施について
アンケートに協力を。
- ⑥ 地区医師会役員に対する衛生検査所の使用実態調査の実施について
- ⑦ 日本医師会認定産業医制度における研修会の開催予定について
- ⑧ 主治医意見書様式の見直し案の周知について
2月より実施。
- ⑨ 「主治医意見書」等作成支援ソフトウェア『医見書』の販売について
事務局で購入し、コピーして希望者に配布。
- ⑩ 主治医意見書の記載に係る対価について
従来どおりで決着。
- ⑪ 平成17年度東京都医師会主治医研修会開催について
平成18年2月4日(土) 午後2時～4時 於：日医会館3階小講堂
- ⑫ 「ケアマネジメントにおける医療と福祉」に関する区市町村取組状況の調査結果
(17年11月現在)について
- ⑬ 日医介護保険委員会答申の配布について

(2) 協議事項

なし

(3) 地区医師会からの報告

- ① 中央ブロック (当番：下谷医師会)
- ② 城東ブロック (当番：江戸川区医師会)
 1. 区東部地域医療システム化推進事業について (江東区医師会)
- ③ 城西ブロック (当番：目黒区医師会)
 1. 中野区医師会学術講演集について (中野区医師会)
- ④ 城南ブロック (当番：荏原医師会)
- ⑤ 城北ブロック (当番：北区医師会)
- ⑥ 多摩ブロック (当番：東久留米医師会)
 1. 「期限切れ麻疹ワクチンの接種について」 (八王子市医師会)
- ⑦ 大学ブロック (当番：東大医師会)

(4) その他

2. 新年賀詞交歓会収支報告

3. 各部報告（各担当理事）

総務部：1月26日（木）介護保険主治医研修会

学術部：1月28日（土）市民健康講座への出席お願い

保険部：新規保険医療機関指導講習（きくち耳鼻咽喉科クリニック）

産業医：東京都農林水産振興財団より社内講習会講師派遣依頼

演題「職場におけるうつ病対策－予防と職場復帰後の留意点」

ほほえみクリニック 岩尾芳郎院長を派遣

病院部：3月16日（木）18：00～ 青梅市立総合病院にてセミナー開催

「安全対策におけるヒューマンファクター」

講師：日本ヒューマンファクター研究所室長兼事務局長

石橋 明先生

4. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅：1月13日 新年会。

福 生：1月18日 新年会。

2月13日 役員改選総会。

羽 村：1月20日 地区会。

あきる野：1月16日 例会。

瑞 穂：特になし。

日の出：欠席。

5. その他 1月23日（月）西多摩三師会勉強会「AEDについて」

【2】報告承認事項

1. 入会会員について ―― 承認 ――

A会員：間瀬 清（高沢病院、瑞穂町）

太田 亘（青梅かすみ台クリニック、青梅市）

B会員：青梅市立総合病院 1名 青梅今井病院 1名

退 会：公立福生病院 1名 青梅坂本病院 1名

2. 平成18年度青梅市立小中学校校医の推薦について（敬称略） ―― 承認 ――

1. 小学校 17校

| 《学校名》 | 《学校医名》 |
|-------|--------|
| 第一小 | 笹本 隆夫 |
| 第二小 | 荒巻 武彦 |
| 〃 | 細谷純一郎 |
| 第三小 | 坂井 成彦 |
| 第四小 | 未 定 |
| 第五小 | 藤野 淡人 |
| 第六小 | 宮下 吉弘 |
| 第七小 | 堀田 洋夫 |
| 成木小 | 土田 守一 |
| 河辺小 | 成田 章 |

2. 中学校 11校

| 《学校名》 | 《学校医名》 |
|-------|--------|
| 第一中 | 森本 晋 |
| 第二中 | 井上勇之助 |
| 第三中 | 鈴木 史朗 |
| 西 中 | 馬場 誠 |
| 第六中 | 堀田 洋夫 |
| 第七中 | 中林 敬一 |
| 霞台中 | 高野 竹生 |
| 吹上中 | 馬場 潤 |
| 新町中 | 石田 信彦 |
| 泉 中 | 吉野 住雄 |

| | | | |
|-----|-------|--------|-----------|
| 新町小 | 野本 正嗣 | 東 中 | ※東小兼務 |
| ” | 大堀 洋一 | | |
| 霞台小 | 大山 高広 | | |
| 友田小 | 小澤 昌彦 | 3. 小学校 | 眼科・耳鼻科 |
| 今井小 | 唐橋 善雄 | 《学校名》 | 《学校医名》 |
| 若草小 | 足立 卓三 | 第一小 | 眼科 後藤 晋 |
| 藤橋小 | 百瀬真一郎 | 第二小 | 眼科 三田 哲夫 |
| 吹上小 | 小林 杏一 | 第四小 | 耳鼻科 山田 英敬 |
| 東 小 | 森本 晋 | | |

3. 東京都立青梅総合高等学校学校医推薦について報告 —— 17.12.13 理事会承認済 ——
内科・片平 潤一、眼科・鹿児島武志、耳鼻咽喉科・奥野 仁 の各会員決定。

4. 平成18年度奥多摩町立小中学校校医の推薦について（敬称略） —— 承認 ——
《学校医名》 《学校名》

| | | |
|---------|-------|-------------|
| 川辺医院院長 | 川辺 隆道 | 氷川小学校・氷川中学校 |
| 古里診療所院長 | 皆川 俊一 | 古里小学校・古里中学校 |

5. 新入会員年会費査定について —— 承認 ——

6. 平成18年度羽村市公立小中学校校医の推薦について（敬称略） —— 承認 ——
《学校名》 《内科医》 《眼科医》 《耳鼻咽喉科医》

| | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 羽村東小学校 | 柳田 和弘 | 真鍋 勉 | 込田 茂夫 |
| 羽村西小学校 | 関谷進一郎 | 真鍋 勉 | 古川 朋靖 |
| 富士見小学校 | 堤 次雄 | 武藤 芳徳 | 込田 茂夫 |
| 栄小学校 | 小崎 有恒 | 真鍋 勉 | 古川 朋靖 |
| 松林小学校 | 塩澤 三朗 | 武藤 芳徳 | 込田 茂夫 |
| 小作台小学校 | 松田三樹雄 | 真鍋 勉 | 古川 朋靖 |
| 武蔵野小学校 | 滝浦 復平 | 武藤 芳徳 | 込田 茂夫 |
| 羽村第一中学校 | 奥村 充 | 真鍋 勉 | 古川 朋靖 |
| 羽村第二中学校 | 小林 重雄 | 武藤 芳徳 | 込田 茂夫 |
| 羽村第三中学校 | 山口賢一郎 | 武藤 芳徳 | 込田 茂夫 |

【3】協議事項

1. 次期役員の種別・定数及び告示日について（定款12条）

- 1) 理事 11人以上 16人以内 ※福生地区を3名とし 15名体制
- 2) 監事 2人
- 3) 理事のうち 1人を会長、1人以上 2人以内を副会長とする

*（次期 1名増員は都医専任理事（玉木副会長））

理事のうち 1名を 3病院間で互選（定款施行規則 50条）

地区理事定数は理事会において決定（定款施行規則 51条）

告 示 平成 18 年 2 月 6 日

2. 平成18年度事業計画について

次回理事会までに事務局まで提出。

3. 平成18年度保険整備委員会・診療報酬請求書の提出日について

4. その他

○都立神経病院医療連携に関する協定書締結（平成17年12月27日）
（平成17年9月13日付け理事会にて承認済）
連携医登録申込書は事務局まで。

○地区医師会経理担当理事・職員説明会
1月25日（木）14時より都医にて開催事務長出席。

○地区医師会救急担当理事・指定二次救急医療機関代表者合同連絡会
2月2日（木）14時より都医にて開催。目白第2病院 安部院長出席。

○地区医師会医事紛争担当理事連絡会
2月27日（月）14時より都医にて開催。

5. 基本健康診査と介護予防事業について

（羽村市高齢福祉介護課長 江上美恵子氏、福生市健康管理課長 板垣俊和氏）

会員通知

- 会報
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 学術講演会（1/19、20）
- レセプト提出日と会館休館日のお知らせ
- 臨床報告会演題募集
- 計量器検査について
- 平成17年度都医主催「日医生涯教育講座」の開催（追加・変更）について
- 日医生涯教育講座セミナー「脳・心血管疾患講座」の開催について
- 産業医研修会（2/22 杏林大学）
- ” （3/4・5 東京都医師会）
- ” （2/18 新宿・中野・杉並医師会）
- ” （2/4 葛飾区医師会）
- ” （1/28 帝京大学医師会）

- 麻しん・風疹の予防接種はお済ですか？
—平成18年4月1日から麻しん・風疹の
予防接種が変わります—
- 市民参加型フォーラム「介護予防ってなに？」
- 公立阿伎留病院医局講演会（1/23）
- サポート Cab（タクシー）
- 学術講演会（2/10・15）
- 在宅医療推進のための実地研修会実施について



お知らせ

事務局より お知らせ

平成18年3月(2月診療分)の

保険請求書類提出

3月8日(水)

— 正午迄です —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禎八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談ください。

- ◎相談日 2月は8日(水)
3月は8日(水)の予定です。
 - ◎場所 西多摩医師会館和室
 - ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
 - ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

社団法人 西多摩医師会

平成18年2月1日発行

会長 真鍋 勉 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 野本 正嗣

瀬戸岡俊一郎 石井 好明 桂川 敬太 込田 茂夫 坂井 成彦
鈴木 道彦 馬場 眞澄 葉山 隆 細谷純一郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

レセコンから今、多機能電子カルテ時代へ。



「Medical Station」は診療・検査から会計まで、医療現場をまるごとサポート。医療スタッフの煩雑な作業を軽減するだけでなく、インフォームドコンセントや待ち時間の短縮など質の高いサービスを実現。

検査結果は暗号化したインターネット・メールで、依頼日の翌朝にはシステムに自動的に取り込まれます。検査センターならではの充実した検査機能のほかに、レセコン機能による診療費計算の自動化、さらには経営分析にも手軽に活用でき、医療の現場をトータルにサポートします。



画期的な新技術により「非改ざん証明」を初めて実現しました

(株)NTTデータとの提携により、厚生省の医療情報電子化3基準のうち最も実現が難しかった「真正性の確保」を日本で初めて技術的に可能にしました。過去のカルテ情報に不正な改変のないことをNTTデータのSecureSeal™センタ(電子文書証明センタ)が厳密に第三者的に証明します。

ハイパフォーマンス電子カルテシステム

Medical Station

お問い合わせ・資料請求先
株式会社ビー・エム・エル
医療情報システム部
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
TEL: 03-3350-0392
e-mail: ms-sales@bml.co.jp
http://www.bml.co.jp/

開発元
株式会社メリッツ
戦略システム開発部
〒350-1101 川越市市場1361-1
TEL: 049-233-7074



価値創造合併 多摩に「たましん」 新生誕生。

〈たましん〉〈たいへい〉〈はちしん〉は平成18年1月10日合併し、「多摩信用金庫」としてスタートしました。これからも、「お客さまの幸せづくり」を使命に地域とともに歩んでまいります。

(新社章コンセプト) たましんのダイナミックに広がりゆく姿を頭文字「T」に象徴しています。力強く上昇するカーブは、未来への確実な成長と発展・信頼性を表現しており、地域をつつみこむやさしさと、柔軟かつ躍動的な印象を併せ持ったデザインです。たましんの親近感と熱意を象徴するレッド、多摩の自然を象徴するブルーとグリーンを使用します。

多摩信用金庫
http://www.tamashin.jp